（参考）目標達成のための指標一覧及びフォローアップ状況

（平成17年8月現在）

＜安全で安心できる地域づくり＞

重点事項：あらゆる災害に強い安全な地域づくり

指標名	H14年度末	H17年度末 目標	H19年度末 目標	将来目標 （長期）
洪水が発生した場合の床上浸水被害軽減	----	6,300戸	18,200戸	58,800戸
土砂災害から保全される重要交通網等ライフライン箇所数	680箇所	760箇所	780箇所	960箇所
津波・高潮による浸水被害防護区域の拡大（国交省分）	9,777ha	10,310ha	10,543ha	15,815ha
跨線橋・跨道橋等の耐震補強済みの割合	40%	84%	100%	----
耐震強化岸壁の充足率	30%	30%	40%	着実に増加
河川情報の提供が可能となる市町村	17市町村	20市町村	95市町村	147市町村

重点事項：雪に強く、安心で快適な地域づくり

指標名	H14年度末	H17年度末 目標	H19年度末 目標	将来目標 （長期）
冬期歩行空間確保率	77%	81%	82%	約100%
消流雪用水導入事業（新規箇所、運用改善）による受益人口	46,200人	63,900人	73,400人	74,400人
冬期2車線確保率	75%	76%	76%	約85%

重点事項：高齢社会等に対応した安心して生活できる地域づくり

指標名	H14年度末	H17年度末 目標	H19年度末 目標	将来目標 （長期）
市街地の歩道の広幅員化率	22% (678km)	24% (731km)	24% (735km)	着実に増加
交通事故による死傷事故率（件/億台キロ）	73	69	66	着実に減少
救命救急センターに1時間で行ける人口	730万人	736万人	740万人	約870万人
官庁施設のバリアフリー※	57%	64%	90%	100%

※バリアフリー：障害者や高齢者・妊産婦などが一般社会の中で遭遇する不便さ（障壁：バリアー）を取り除くこと。

＜強い東北の創造＞

重点事項：「縦」、「横」のネットワークによる広域的な交流・連携の推進

指標名	H14年度末	H17年度末 目標	H19年度末 目標	将来目標 （長期）
高速道路まで1時間で行ける人口の割合	97%	98%	99%	約100%
規格の高い道路を使う割合	8%	8%	9%	約15%
都市間所要時間の短縮	100分	98分	95分	約70分
高速道路と結ばれる空港の数	7/9	8/9	8/9	9/9

重点事項：グローバル化に対応した「自立した経済システム」を支える基盤整備

指標名	H14年度末	H17年度末 目標	H19年度末 目標	将来目標 （長期）
40,000DWT以上の船舶が貨物を満載して着岸できる岸壁の充足率	46%	49%	49%	63%
風浪によるコンテナ定期航路の抜港・遅れ発生回数	43回/年	35回/年	30回/年	16回/年
高速道路と結ばれる重要港湾の数	5/15	7/15	7/15	14/15

＜美しい東北の実現＞

重点事項：東北らしい自然環境との共生

指標名	H14年度末	H17年度末 目標	H19年度末 目標	将来目標 （長期）
都市における良好な樹林地等を有する 都市公園等の面積	2,400ha	2,511ha	2,600ha	着実に増加
海辺に親しむことができる水際線の増加 （国交省分）	373km	373km	377km	440km
海岸の汀線防護による侵食進行の防止 （国交省分）	277km	281km	289km	353km

重点事項：循環型社会の構築

指標名	H14年度末	H17年度末 目標	H19年度末 目標	将来目標 （長期）
廃棄物海面処分場の整備率	73%	77%	91%	100%
東北地方の重要港湾における廃棄物・ リサイクル資源取扱量	198万ﾄﾝ	238万ﾄﾝ	概ね250万ﾄﾝ	着実に増加
ダム完成による上水道・工業用水の 供給可能量の増加量	---	259,000m3/日	259,000m3/日	410,000m3/日
下水道処理人口普及率	50%	55%	59%	75%

＜魅力ある都市づくり＞

重点事項：「コンパクトシティ」の推進

指標名	H14年度末	H17年度末 目標	H19年度末 目標	将来目標 （長期）
道路渋滞による1人当たりの年間損失時間	33時間/年	31時間/年	29時間/年	着実に減少
区画整理により良好な宅地等が形成される面積	630ha	804ha	1,015ha	着実に整備
県庁所在地の無電柱化率	10%	14%	概ね20%	着実に増加

注1）H14年度末が「－」となっている指標の各年次の数値は、H14年度末を基準とした増加量を示す。
2）各指標の定義については次頁参照。
3）将来は概ね10～15年後を示す。

○各指標の定義一覧

＜安全で安心できる地域づくり＞

重点事項：あらゆる災害に強い安全な地域づくり

指標名	定義
洪水が発生した場合の床上浸水被害軽減	洪水が発生した場合の床上浸水が解消された戸数の増加量
土砂災害から保全される重要交通網等ライフライン箇所数	土石流危険渓流及び地すべり危険箇所等において、砂防関係事業を実施することにより、土砂災害から主要な道路や鉄道など重要交通網等ライフラインが保全（安全が確保）される箇所数
津波・高潮による浸水被害防護区域の拡大	浸水防護対策が必要な面積に占める防護完了面積
跨線橋・跨道橋等の耐震補強済みの割合	直轄国道のうち、平成８年度震災点検において耐震補強が必要な跨線橋・跨道橋等二次的災害が想定される橋梁のうち、耐震補強が実施されている橋梁（橋脚）の割合
耐震強化岸壁の充足率	東北各県の重要港湾の中で基本方針に定められている耐震強化岸壁の整備が完了している割合
河川情報の提供が可能となる市町村	光ファイバーネットワークの拡大により、提供が可能となる市町村数

重点事項：高齢社会等に対応した安心して生活できる地域づくり

指標名	定義
市街地の歩道の広幅員化率	市街地部の一般国道区間のうち自転車歩行者道の有効幅員３ｍを確保した歩道区間の割合
交通事故による死傷事故率	自動車が１億台キロ走行する間に遭う死傷事故の確率
救命救急センターに１時間で行ける人口	最寄りの高度医療施設（救命救急センター）に自動車専用道路等を利用し、60分で到達可能な市町村の人口
官庁施設のバリアフリー	既存官庁施設でハートビル法※に基づくバリアフリー化改修が完成する施設の割合

重点事項：雪に強く、安心で快適な地域づくり

指標名	定義
冬期歩行空間確保率	雪みち計画による冬期歩行空間確保延長に対する対策済み延長の割合
消流雪用水導入事業（新規箇所、運用改善）による受益人口	消流雪用水導入事業により生活環境改善効果が見られる受益人口
冬期２車線確保率	一般国道、主要地方道及び一般県道のうち積雪地域において冬期除雪等により２車線が確保される延長の割合

※ハートビル法：高齢者や身体障害者等の自立と積極的な社会参加を促すため、不特定かつ多数が利用する建築物において、高齢者や身体障害者等が円滑に利用できるような整備を促進するための法律。

＜強い東北の創造＞

重点事項：「縦」、「横」のネットワークによる広域的な交流・連携の推進

指標名	定義
高速道路まで１時間で行ける人口の割合	自動車専用道路（高規格幹線道路・地域高規格道路）等のICから60分で到達可能な人口の割合
規格の高い道路を使う割合	自動車専用道路等を利用する交通の割合
都市間所要時間の短縮	隣接の地方生活圏中心都市（38都市）相互の所要時間
高速道路と結ばれる空港の数	自動車専用道路等のICから10分以内で連絡可能な空港の数

重点事項：グローバル化に対応した「自立した経済システム」を支える基盤整備

指標名	定義
40,000DWT以上の船舶が貨物を満載して着岸できる岸壁の充足率	管内港湾において、計画されている水深13m以上の岸壁のうち整備が完了している岸壁の割合
風浪によるコンテナ定期航路の抜港・遅れ発生回数	コンテナ定期航路就航港のうち、風浪等によって抜港・遅れが生じた回数
高速道路と結ばれる重要港湾の数	自動車専用道路等のICから10分以内で連絡可能な重要港湾の数

＜美しい東北の実現＞

重点事項：東北らしい自然環境との共生

指標名	定義
都市における良好な樹林地等を有する都市公園等の面積	DID地区※及びその近傍の良好な樹林、湿地等を有する2ha以上の都市公園及び都市における地域性緑地面積（緑地保全地区、条例に基づく緑地のみ）
海辺に親しむことができる水際線の増加	地域特性を活かした利用しやすい海辺親水空間の整備延長
海岸の汀線防護による侵食進行の防止	侵食対策が必要な延長に占める海岸保全施設の整備延長

重点事項：循環型社会の構築

指標名	定義
廃棄物海面処分場の整備率	東北管内における廃棄物海面処分場の整備率
東北地方の重要港湾における廃棄物・リサイクル資源取扱量	東北地方の重要港湾の中で、廃棄物・リサイクル資源の取扱量
ダム完成による上水道・工業用水の供給可能量の増加量	ダム完成による上水道・工業用水の供給可能用量の増加量
下水道処理人口普及率	総人口に対して、下水道を利用できる人口の割合

＜魅力ある都市づくり＞

重点事項：「コンパクトシティ」の推進

指標名	定義
道路渋滞による１人当たりの年間損失時間	一般県道以上の道路における渋滞がない場合の所要時間と実際の所要時間との差を人口で除した値
区画整理により良好な宅地等が形成される面積	DID地区※内で実施中の土地区画整理事業で整備が完了した面積
県庁所在地の無電柱化率	県庁所在地での市街地の幹線道路（県道以上）延長に対する、無電柱区間（電線・電柱が存在しない区間）の割合

※DID地区：市町村の区域内での人口密度4,000人/㎢以上の地区が互いに隣接して、その人口が、5,000人以上となる地区。人口集中地区。